



ごあいさつ

皆様には、平素より私ども「熊谷商工信用組合（くましん）」に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年6月21日に開催されました第72期通常総代会にて理事長に就任し、1年が経ちました。その間、課題の貸出金利息収入や手数料等の役務取引等収益の増加に取り組んでまいりましたが、まだまだ十分な改善ができたとは言えません。今後も収益力の強化に取り組み、信頼される地域金融機関として地域に根ざし、金融を通して地域の発展に貢献していきたいと考えていますので皆様方も変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

当組合は、創業以来70年余に亘り、埼玉県北地域のコミュニティバンクとして地域の皆様と共に歩み、今日の経営基盤を築いて参りました。より多くの皆様に当組合の経営内容や営業実績等をご覧頂き、「くましん」をより一層ご理解頂けるよう、今年度もディスクロージャー誌を作成致しました。

令和7年度のわが国経済は、1月に就任した米国トランプ大統領による一連の関税引き上げ策が日本のみならず、世界の金融・経済を揺るがしています。日本と米国との経済的な結びつきは強く、日本の輸出総額に占める米国向けの割合は約2割を占めています。今後、米国との間の交渉を見極めていかなければなりません、少なからず輸出関連企業への影響は避けられないと考えています。このような状況下にあっても、当組合は「地域への貢献」「お客様第一主義」を経営理念とし、積極的に地元事業者の支援に取り組んでまいります。

令和6年度決算につきましては、貸出金残高は305百万円増加、平残は前期大きく貸出金残高を落としたことで871百万円の減少となりましたが、貸出金利息収入は1,054百万円と貸出金利回りの改善が図れたことにより前期比38百万円の増加となりました。またコア業務純益178百万円、最終的な当期純利益は126百万円の利益を確保することができました。

しかし第10次中期経営計画書で掲げている「本業収益だけで経費を賄える自立可能な体質への改善」はまだまだ達成できていませんので、今後更なる収益力の強化を目指し、全役職員が一丸となり取り組んでまいりますので、引き続きのご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

熊谷商工信用組合 理事長 **石川和彦**

（写真撮影 有限会社 CUES 野澤雅史氏）